

ドラフト候補 & 有望選手リスト

都道府県	名前	高校名	身長	体重	投打	評	コメント
熊本	甲斐 雄也	済々峯	180	80	右右	△	1年夏から4番を張り、昨秋はマウンドにも立った。そんな経験を活かすも県内屈指の打撃技術を確立
大分	橋原 昂希	大分雄城台	188	83	右左	△	この体躯でワングと加速するのだから走者が映える。低弾道の鋭い打球、鋭角肩の送球スピードも◎
▼右翼手							
佐藤 横平	白樺学園	182	81	右右	△	将来楽しみな右の大砲候補。逆方向の打球が伸びる力強さと、マークされても動かないメンタル	
埼玉	三上ケvin	慶明	183	75	右右	△	一瞬、オコエ瑠偉(案)かと思わせる俊足強打。ムード作りも上手い。躍動プレーに気合も爽快!
神奈川	正木 智也	慶應義塾	181	85	右右	△	「どこまで飛ばすのか」と仰天した昨秋の場外強打。ここからマークされてもどんでん返しができる◎
新潟	荒井 颯太	関根学園	190	93	右右	△	今春県大会で2本塁打。北信越大会では「啓新・放村」もあつた。当たったときの飛距離は今夏の県No.1
新潟	川村 啓真	日本文理	172	79	右左	△	1年時から強肩捕手として鳴らしたが今夏は右翼手として大舞台へ。いきなり左中間への通算40号打
静岡	中田 悠斗	藤枝明誠	180	78	左左	△	走攻守の三拍子が揃う。バットコントロールがよく攻打を量産。守備範囲が広く、後ろの打球も強い
三重	戸田 将太	菟野	188	84	左左	△	リーチの長さ生かすスケール大きな打撃。ライナーでも、兼せて運ぶ形でも驚愕の打球を飛ばせる
兵庫	大原 光陽	松阪商	181	78	右左	△	打席での雰囲気があり、ヘッドの走るスイングでバットと球を仕留める。既に夏前に通算40弾超え
兵庫	宮田 稜平	育英	182	78	右右	△	いや〜驚いた。ほとほとフィールドル神戸の左翼最上段へジャンプと通算38号。夏は切り込み隊長
奈良	福元 悠真	智辯学園	178	75	右右	○	登美ヶ丘戦でいきなりワゴンとぶち込んだ先頭打者強打。攻守のオールレンジさにチームの土気も上昇
奈良	神野 太樹	天理	172	77	右右	△	2年ぶりの聖地でいきなり2打席連続弾をぶち込んだ「天理のランテン」。馬力もあじやないか
広島	土取 大起	岡山国際学院	175	82	右左	△	尾道商戦で3者連続本塁打の口火を切るもまさかの逆転負け。投手兼任も県内屈指の左スラッガーだ
鳥島	月森 大介	出雲西	172	70	右右	○	多少着きが出てきたことはいよいが、もっとも悪くもいえないじゃないか。超絶スピードが映えるから
鳥根	上田 晶	大社	176	80	右両	△	下位に座るが「捻じる」意識の独特なスイングから横越えを連発。長所を伸ばせばともて飛躍できる
高知	西浦 颯大	明徳義塾	178	70	右右	△	50メートル走5秒9、通算110メートルと身体能力を際立たせる気迫を常に演出するが今後の鍵

大 学 生

投手編

リーグ	名前	大学名	出身校	身長	体重	投打	評	コメント
北海道学生	宮本 蒼士樹	東農大北海道	鎮西	176	79	右右	○	大型守りだが力のあるスレートで押し込み本格派のスタイル。微妙に動くボールが映える
伊藤 勝大	北翔大	旭川明成	185	68	右左	△	道内学生界屈指の速球。球の速さは高校時から。チームを勝てる真のエースとなるか	
札幌学生	藤原 卓志	星槎道都大	岨越	182	90	右右	○	昨季の疲れを引きずったような春。潜在能力の高さはすでに実証済み。ぶつかり投げの球が見たい
藤川 悠士	星槎道都大	北見北斗	176	61	右右	○	実績無き糸系引スレートが忘れられない。球は細もい(ネガが)運動感◎、知っていれば投手	
北東北大学	湯浅 涼佑	ノースアジア大	金足農	180	80	右左	○	全国大会にも無難も、左打者の背中越しに強打を連続して振り回すという奇跡的な活躍
仙台六大学	鈴木遼太郎	東北学院大	石巻西	183	78	右右	△	勝負どころでキアアと打ち、140キロ台の速球スライダーを駆って三振を出す力強さに要観
馬場 皐輔	仙台大	仙台育英	180	90	右右	◎	150キロ台のスレートと鋭い球のコラボレーションで、ハマったときの爆発力は大学界No.1	
石井 将希	上武大	桐生第一	180	82	左左	△	キレのいいスライダーと140キロ台を超えるスライダーは一品も2打席に安定感を欠いている	
関甲新学生	宮川 哲	東海大山形	178	78	右右	○	荒れ球と多彩な変化球を駆使し、とらえどころのない投球で投手に刻む。術中にハマる厄介	
今村 暁人	白鷲大	久留米商	176	70	右左	△	腕の振り生かした勢いのあるスレートとスライダーで押してくる。一辺倒に押し込まない	
宮台 康平	東京大	湘南	178	84	左左	○	肩の故障明けもあって調子を崩した最終学年。だが、左腕から繰り出す140キロ台後半はプロの素材	
熊谷 拓也	法政大	平塚学園	180	79	右右	△	先発では物足りないピッチャーにも、リリーフになる150キロ台を常発。まるで別人に变身する	
育藤 大将	明治大	桐蔭学園	178	75	左左	○	切れ味抜群の速球とスライダーに、気持ちの強さを生かした投球は、まさにリリーフとして今後	
大竹耕太郎	早稲田大	済々峯	182	72	左左	△	球威・球速に派手さはないが、試合を作れるまじやと常に安定した投球を見せる貴重な先発タイプ	
柳澤 一輝	早稲田大	大阪	180	82	右右	△	150キロ台の速球で押す投球者、今春はメリハリがつけられるようになり、精神的にも成長した	
葛川 知哉	青山学院大	大塚桐蔭	182	89	右右	△	下級生時に見せていたバウリングピッチが印象的だが、今春は投球全体がおとなしく、物足りなさ	
嘉藤宗一郎	亜細亜大	松山聖徳	186	85	右右	△	140キロ台中盤を先発でできる能力を秘めるも、今春は制球難視。ドラフト候補から大遠く後送	
高橋 遥人	亜細亜大	常葉学園橘	180	80	右左	○	先発で140キロ台後半を投げるサウスポーは大学界屈指だが、下打者の腹にぶちまけ日々	
小又 圭甫	國學院大	千葉英和	182	84	右右	△	150キロ台を超えるスピード能力は指折りの存在。ただ、制球力や変化球もまだまだ経験値も段階	
柳野 新	国士舘大	村上桜ヶ丘	194	98	右右	○	「こんなもんじゃい」と言われ続けたが、最終学年でようやくピッチとしてきて大舞台	
高橋 礼	専修大	専大松戸	180	80	右右	△	下手から140キロ台を記録した下級生から顔面を捉も、制球に難あり、年々内容が低下している	
飯原 拓也	中央大	北陸	177	75	右右	◎	150キロ前後を連発できるスピード能力と強烈なシカーで、プロでも三振を奪える上位候補	
菅田 晴海	東洋大	常総学院	175	75	右右	△	スケールよりも異端での投球する好投手。もつワラント上の変化球と投球技術を追求したい	
菊地 丈滸	帝京大	帝京	175	80	左左	△	投げついでに腕を振る。勢いだけで今春のリーグ戦での防衛率という実績はどうか	
徳辺 佑樹	横浜商科大	富士学苑	182	77	左左	△	投球は130キロ台中盤、腕の振りから見分けのつかないチェンジアップで相手を困惑させる左腕	
若林 優斗	中央大	三重	175	79	右右	△	サイド気味の角度から球威あるスレートで内角を突く。左打者の外へ曲がるスライダーは取崩困難	
吐前 拓哉	東海学園大	至学館	185	92	右右	△	指にかかれは打者の手元で力増す速球146キロ。大学で大幅にパワー増も、悪いかわいが多いのが...	
畑中 希龍	朝日大	星槎	173	69	左左	△	130キロ台後半のスレートできつくりコーナーを突き打たせない。年々進化の上落もトクもトク	
濱口 雄大	岐阜経済大	高知英	177	80	右右	○	今春最速152キロマール神聖も満ちた。馬力強い腕も強い1打、フォーもクラッシュする鋭い後	
與座 海人	岐阜経済大	沖繩尚学	173	74	右右	○	テンポよく投げ打ち打者を差し込む下手投げ。外角への出し入れ秀逸で大学選手権で被打完封	
東海地区大	西居 建陽	中部学院大	和歌山商	185	77	左左	○	スリークォーター気味の独特な角度から長いリーチで押れ出て、打ちつづける外角を突く
平岡 敬人	中部学院大	育英	185	92	右右	○	昨秋以降右肩のケガに悩むも体のパワーは秀逸。150キロの剛速球にカーブ、フォーを交える	
鶴山 毅一	東海大海洋学部	東海大高輪台	185	89	右右	△	真上からの最速148キロ台の速球で勝負。細かくとる気配によるよもやらの両脚でまだ伸び	
箱山 匡慶	四日市大	愛媛大	183	85	右右	△	馬力があり上から投げ下す。高校時から評判の潜在能力が現実に結びついた好投手も、まだ伸び	
近藤 亮樹	福井工業大	福井正二福井	174	78	左左	△	小気味よい投球の持ち味のサウスポー。右打者に狙って打ちに逃げている球があれば、さらに脅威に	
阪本 大樹	関西大	履正社	169	74	右右	○	マウンド前後に優かみずちといた体格から繰り出されるスレートで空振り奪えるリリーフタイプ	
関西学生	岡田 和馬	近畿大	182	72	左左	△	今春のリーグ戦で、防衛率0.25の圧倒的な安定感。しかし大学選手権では登板後「ハッパ」を	
東 克樹	立命館大	愛大名大	170	75	左左	◎	この世代では貴重なムースとして積み上げてきた実績と140キロ台後半の速球で大学No.1左腕に	
阪神大学	今西 優一	進学門学院大	尼崎北	180	76	右両	△	スリークォーターから繰り出す140キロ台の速球は威力抜群。チームを1部に引き上げた功労者だ
京滋大	藤本 勇希	京都学園大	作陽	179	81	右右	△	球速以上に感じさせる球威が魅力で、空振りも狙って奪える。高めに浮きやすい球筋の改善を
平岡 航	京都学園大	鴨津	172	58	左左	△	3年時は伸び悩んだが、4年で球速とスライダーのレレが復活。打者への怖い球筋で攻めていく	
大野 拓海	近大工学部	創成館	177	77	右右	△	全身を使った勢いのあるフォームから繰り出されるボールに、打者のバットは思わず回ってく	
野村 尚樹	広島経済大	西田川	182	83	右右	△	140キロ台のスレートと多彩な変化球を織り交ぜた先発タイプ。投球にちかきで出てくれば	
蔵本 治孝	岡山商科大	神戸国際大付	185	95	右右	△	高校は「Bチーム中堅手」。努力を重ねる速球を得意に、まだ発展途上でも本格化した時が来し	
中国大学	近藤 弘樹	岡山商科大	安佐北	186	95	右右	◎	150キロが目がわれがちだが、変化球を織り交ぜた柔軟的な投球も。汎用性の高さは「1位」候補
萩原 偉麻	吉備国際大	柳川	173	78	右右	△	春のリーグ戦で最速150キロ台を出した右打者。志望届提出表明すれば上位候補に上り得る	
四国大学	小久保 寛	四国学院大	鹿兒島玉龍	178	78	右左	△	最速148キロ台のスレートとフォークが軸。東北福祉大を完封したレレが持ち味
平山 史崇	松山大	高知	182	80	左左	△	コンスタントに140キロ台を記録する左腕。曲がりが鋭いチェンジアップで制球難に泣く	
谷川 文仁	九州共立大	長崎大	183	82	右左	△	均整の取れた体格が繰り出す速球だけでなく制球力も兼ね備える。大舞台で活躍すれば	
福岡六大学	福岡 亮太	九州産業大	伊万里商	183	75	右右	◎	荒しい素材型だが、今春はだいぶ投手らしくなってきた。それでもまだ伸びるを極めたい大器
本多 勝也	九州産業大	長崎・海星	180	86	右左	△	両コーナーを突く(僅かな制球力と)追い込んでくる投げ出しの速球で、あは速球に活きる	
九州地区大	ケムナブラフ誠	日本文理大	日南	192	91	右右	○	小さなデータパークからミットに取らるまで電光石火のスピード。ボールの質は世代屈指の